

和洋女子大学の内部質保証の方針

和洋女子大学では、本学の建学の精神に基づく教育理念を実現するために、以下のとおり内部質保証の方針を定める。

1. 評価方針

(1) アセスメント・ポリシー（評価方針）の策定

内部質保証をアドミッション・ポリシー（入学者受入方針）、カリキュラム・ポリシー（教育課程・編成実施方針）、ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）の適切性としてとらえ、そこに定める内容を評価することを目的として、アセスメント・ポリシー（評価方針）を定める。

評価水準として、アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）、カリキュラム・ポリシー（教育課程・編成実施方針）、ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）を評価するために、「入学前・入学直後」、「在学中（単位認定・進級判定）」、「卒業時（卒業後）」の各時期に、「大学（機関）レベル」、「学部・学科（教育課程）レベル」、「授業科目レベル」の3つのレベル（水準）を設定する。具体的な評価方法は、アセスメント・ポリシーマトリックスに示す。

【添付ファイル（Webリンク）】アセスメント・ポリシーマトリックス

和洋女子大学アセスメント・ポリシーマトリックス

	入学前・入学直後 アドミッション・ポリシー（入学者受入方針） を満たす人材が入学しているかという検証	在学中（単位認定・進級判定） カリキュラム・ポリシー（教育課程・編成実施方針）に則って教育が進められているかという検証	卒業時（卒業後） ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）に 定めた学修成果を学生が身に付けて卒業しているかという検証
大学全体（機関） レベル	各種入学試験の検証 入学前学生アンケート	学生生活アンケート DP達成状況 ^{※3} 単位修得状況 ^{※3} 進級率、休学率、退学率	学生生活アンケート（卒業年次生） 学位授与状況 進路状況 成長実感 ^{※3} 卒業生調査（過年度卒業生） 就職先調査（過年度卒業生就職先）
学部（教育課程） レベル	プレイズメントテスト ^{※1} アセスメントテスト ^{※2}	DP達成状況 ^{※3} 大学での学びの目標と振り返り ^{※3} 目標と計画 シラバス相互チェック アセスメントテスト ^{※2} GPA ^{※4}	DP達成状況 ^{※3} 成長実感 ^{※3} 資格・免許取得状況
授業科目 レベル	各種入学試験	授業評価アンケート 教員の活動実践の点検 成績評価	卒業研究・卒業制作

※1 プレイズメントテスト・・・本学では入学時に、英語・国語・数的処理の各試験を実施し、共通総合科目の英語のクラス分けを行うなど、教育へ活用していきます。

※2 GPS academic 1年次、3年次に実施

※3 学修成果の可視化システム：学生ポートフォリオ（わよJam）を活用していきます。

※4 GPA・・・「Grade Point Average」の略で、学生が履修した科目の成績の平均を数値で表したものです。

(2) 内部質保証の推進に責任を負う組織

全学的な内部質保証の推進は、大学評議会および大学院評議会が行う。

(3) 各部署による「目標と計画」の策定

各学部・学科、研究科、部署が「目標と計画」を2年に一度策定し、中間振り返り、総括を行う。「目標と計画」は、内部保証の仕組みの軸として、大学全体（機関レベル）と個々の授業科目レベルをつなぐ教育課程レベルの中心となるサイクルとして位置づける。

(4) 中期計画・事業計画との連動

内部質保証を進める上で、全学的かつ具体的な計画として、5年間に一度の中期計画ならびに年度ごとの事業計画と連動した点検・評価を行う。

(5) 教員の活動実践の点検・評価

各教員が行う教育・研究・社会貢献の活動については、毎年度、自己点検・評価を行う。

(6) 第三者視点を踏まえた継続的な改善の取り組み

内部質保証で得られた点検・評価の結果は、大学評議会および大学院評議会、各教授会、I R (Institutional Research) 委員会等で検証し、教学マネジメント評価委員会ならびに地域連携協議会での学外委員による意見も反映することで、第三者視点を踏まえた教育の質保証に向けた継続的な改善に努める。

(7) 点検・評価結果の公表

内部質保証で得られた点検・評価の結果は、大学ホームページ等を通じて、学生ならびに社会への情報公開に努める。

2. 組織体制

(1) 大学評議会および大学院評議会

大学評議会および大学院評議会は、内部質保証の推進に責任を負う全学的組織として、大学および大学院における自己点検・評価を企画、実施する。同時に、各教授会から内部質保証に関する提案を受け、自己点検・評価の企画、実施に際して検討・改善を行う。

(2) 教授会

学部教授会および研究科教授会では、内部質保証の推進組織である大学評議会および大学院評議会で検討した取り組みの報告を通して情報共有を行う。同時に、各教授会から大学評議会および大学院評議会へ内部質保証に関する意見をまとめ提案を行う。

(3) 学務組織委員会

学務組織委員会では、各学科から教員が委員として参加することで、大学評議会および大学院評議会で検討した内部質保証の取り組みについて情報共有を行う。同時に、学科の意見を集約して報告することで、学務組織委員会から大学評議会および大学院評議会へ提案を行う。学務組織委員会には、関係部署の課長や課員も参加することで、教職協働による検討を進める。

(4) 事務組織

学長、事務局長のもと、それぞれが所管する事務組織における内部質保証を推進する。

(5) 教学マネジメント評価委員会

学長を中心とした教学マネジメント体制、大学の自己点検・評価、大学の内部質保証、アドミッション・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシーの3つのポリシーの達成度について点検・評価を行い、教育の質的向上に資することを目的とする。

学外委員による第三者評価を得る委員会であり、内部質保証の推進に責任を負う全学的組織である大学評議会および大学院評議会の構成員が委員を兼ねることで、委員会での協議を内部質保証の取り組みへ直接活かすことができる体制を整えている。

(6) 地域連携協議会

本学が所在する自治体の諸団体および市民との連携・協働を推進し、それによって地域の経済、産業、文化等の諸活動を発展させること、ならびに本学の教育研究を充実させることを目的とする。地域行政、地域産業界の大学に対する要望を受けとめ、教育、研究活動との連携を果たすことと、教育に対する評価・点検を行う。

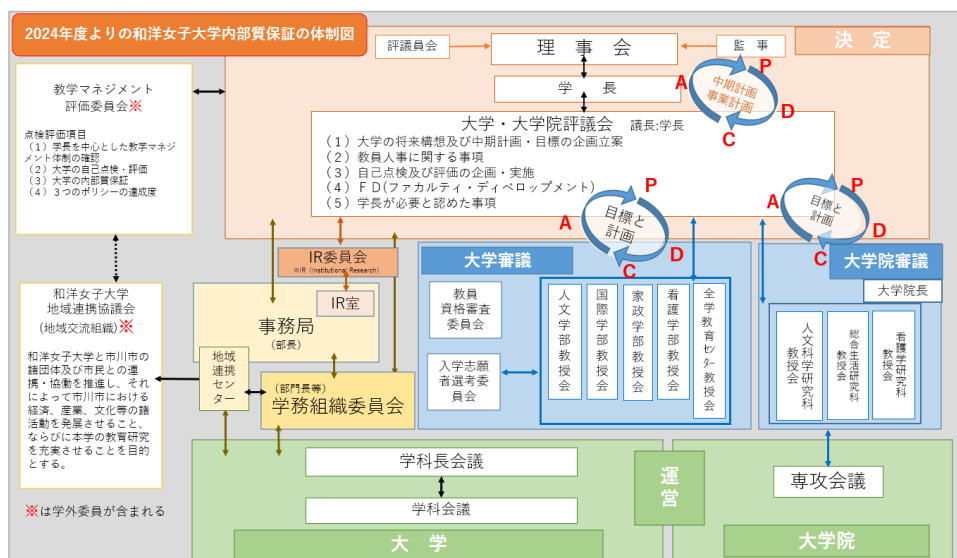
本学が所在する自治体や市民、地域産業界からの委員に加えて、大学評議会および大学院評議会の構成員も参加している。

(7) IR（インスティテューショナル・リサーチ）委員会

大学および大学院の運営ならびに改革に必要な情報の収集・調査・分析等を行い、本学関係各所に報告あるいは政策提言に関する活動を行うことを目的とする。

IR委員会ではアセスメント・ポリシーマトリックスの各指標について情報提供を行い、IR室や作業部会を設けて本学の各種データの収集・分析・報告を行うことで、内部質保証に関する計画の策定および点検・評価への支援を進める。

【添付ファイル】和洋女子大学内部質保証組織体制（2024年度版）



3. 内部質保証に基づく各ポリシー（方針）の変更手続き

内部質保証で得られた点検・評価の結果、各ポリシー（方針）に変更の必要があると判断された場合には、教授会ならびに関係委員会、関係部署における検討の上で、内部質保証の推進に責任を負う全学的組織である大学評議会および大学院評議会が変更について決定する。